

2025年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年4月30日

上場会社名 アクモス株式会社

コード番号 6888 URL <https://www.acmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 飯島 秀幸

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 末國 真一

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5539-8800

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の連結業績(2024年7月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年6月期第3四半期	4,843	1.5	494	19.9	498	19.2	323	18.8
2024年6月期第3四半期	4,773	11.7	617	13.6	616	7.8	397	7.5

(注)包括利益 2025年6月期第3四半期 337百万円 (18.0％) 2024年6月期第3四半期 411百万円 (7.2％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	32.63	—
2024年6月期第3四半期	40.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年6月期第3四半期	5,422	3,604	60.9
2024年6月期	5,261	3,460	60.2

(参考)自己資本 2025年6月期第3四半期 3,300百万円 2024年6月期 3,165百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2025年6月期	—	0.00	—		
2025年6月期(予想)				25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年 6月期の連結業績予想(2024年 7月 1日～2025年 6月30日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	7,000	12.4	700	6.0	700	6.0	450	45.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期3Q	10,215,400 株	2024年6月期	10,215,400 株
期末自己株式数	2025年6月期3Q	266,343 株	2024年6月期	354,143 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期3Q	9,901,569 株	2024年6月期3Q	9,822,220 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2024年7月1日至2025年3月31日、以下「当四半期」という。)におけるわが国経済は緩やかな回復が見られるものの、米国の政策の不確実性や中国の景気減速、物価の上昇、人手不足感の強まりにより先行きへの懸念が続いております。

当社グループの事業を取り巻く環境は、近年の大規模災害の発生を契機とした消防防災分野への関心の高まりや、デジタル産業基盤強化のためのデジタル人財の育成・確保が課題となっております。足元でも特にネットワークやクラウド技術をもつ人財は不足しております。当社ではエンジニア職の新卒採用社員に対する最長1年間の研修期間を設けるほか、職位に応じた研修を実施し、事業の成長に欠かせない優秀な技術者の確保と育成に取り組み、積極的な人財への投資を行っております。

当期から開始した中期経営計画2027(2024年7月～2027年6月)においては最終年度の連結売上高100億円到達を目標とし、収益性と成長性を軸に事業ポートフォリオのポジショニングに応じた事業戦略を推進しております。成長投資領域(Growth)では、消防防災事業及びネットワーク事業に対し集中して投資しており、当四半期においては他領域からの異動や採用等により人員の確保に注力しております。また、グループ全体で人財採用を強化し、3年間で200名以上の採用を目標に取り組んでまいります。

当四半期は前期第3四半期末から連結した株式会社プライムシステムデザインの損益が加わっており前年同期比で1.5%の増収となりました。一方で採用及び人財育成を積極的に行っていることから、人件費を中心に販管費が13.2%増加しております。

当四半期の売上高は4,843百万円(前年同期は4,773百万円、前年同期比1.5%増)、営業利益は494百万円(前年同期は617百万円、前年同期比19.9%減)、経常利益498百万円(前年同期は616百万円、前年同期比19.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は323百万円(前年同期は397百万円、前年同期比18.8%減)となりました。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

(ITソリューション)

消防防災ソリューションでは全国展開において他社との協業体制の強化により、消防通信指令システムの入札への参加を進め、当四半期末までの落札件数は2件となりました。四国地方で当期完了予定案件が仕掛となっているほか、東北地方で当期首より作業期間が1年を超える案件を手掛け、進捗に応じて売上を計上しております。自治体ソリューションのクラウド化を推進し、車検時の納税確認を効率化し、都道府県・市町村の業務負担を軽減できるクラウドサービス「車検用納税確認支援システム」や、教育現場の働き方改革を支援する、教職員向け勤怠管理クラウドサービス「AttRec(アトレコ)」を全国の県、市町村への拡販に取り組んでおります。2024年9月に、当社は株式会社ネオジャパンのノーコード業務アプリ作成ツールのAppSuiteインテグレーターに認定され、アプリ作成支援&作成代行等オプション連携サービスのメニュー化を進めました。また、SES事業においてAIソリューションベンダーとの取引を開始しております。

当四半期の売上高は2,997百万円(前年同期は2,964百万円、前年同期比1.1%増)、営業利益285百万円(前年同期は営業利益420百万円、前年同期比32.1%減)となりました。

(ITインフラ)

地方公共団体による情報管理システムのネットワーク基盤リプレイスなど大型の入札案件の完了や、官公庁・民間企業でのグループウェアの導入支援、行政機関や研究機関への計算機などの納入があり、構築、運用を中心に堅調に推移しました。標的型攻撃メール対応訓練ソリューション「SYMPROBUS CoTra Enterprise」では生成AIによる訓練メールテンプレートの自動作成機能の追加やセキュリティ教育コンテンツの更新のほか、見積自動発行機能のリリースなどお客様や販売代理店の要望に対応し、機能の充実を図りました。また、営業部員の増員や、ネットワークエンジニアの育成等、人財投資を推進しました。当四半期の売上高は784百万円(前年同期は813百万円、前年同期比3.6%減)、営業利益は133百万円(前年同期は166百万円、前年同期比19.5%減)となりました。

(ITサービス)

第三者保守サービスでは、レガシー仮想化のためのエミュレータCharonの販売が伸び、パーツ販売もお客様の在庫調整の影響から回復傾向にあります。病院情報システム維持管理では運用業務が堅調に推移しており、売上高は前年同期比で9.7%増加し、ほぼ想定どおりの進捗となりました。BPOサービスでは、高収益案件への注力や業務効率の改善とともに営業利益が回復しております。

当四半期の売上高は1,089百万円(前年同期は1,010百万円、前年同期比7.8%増)、営業利益は112百万円(前年同期

は66百万円、前年同期比68.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当四半期末の総資産は前連結会計年度末から161百万円増加し5,422百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加1,011百万円、仕掛品の増加64百万円の方、現金及び預金の減少871百万円があったことによるものです。

(負債)

当四半期末の負債は前連結会計年度末から17百万円増加し1,817百万円となりました。これは主に、未払費用の減少248百万円の方、買掛金の増加182百万円、賞与引当金の増加146百万円があったことによるものです。

(純資産)

当四半期末の純資産は前連結会計年度末から144百万円増加し3,604百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益323百万円、資本剰余金の増加39百万円、自己株式の処分による増加9百万円の方、配当金の支払い236百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年8月5日付の「2024年6月期決算短信」にて公表いたしました2025年6月期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、配当に関しては、2024年8月5日付の「配当方針の変更(累進配当の導入)及び剰余金の配当に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、中期経営計画2027の期間(2024年7月1日～2027年6月30日)においては、累進配当を導入し、前年実績の水準に対して維持又は増配することを基本方針としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,042,935	2,171,390
受取手形及び売掛金	839,664	1,851,568
商品	340,052	346,340
仕掛品	83,472	148,160
その他	112,685	101,318
貸倒引当金	△684	△684
流動資産合計	4,418,125	4,618,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	356,502	357,066
減価償却累計額	△183,967	△192,726
建物及び構築物（純額）	172,535	164,339
工具、器具及び備品	230,545	226,930
減価償却累計額	△185,301	△184,998
工具、器具及び備品（純額）	45,243	41,931
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	286,615	275,107
無形固定資産		
のれん	202,425	186,628
ソフトウェア	37,380	37,278
その他	3,103	2,687
無形固定資産合計	242,910	226,594
投資その他の資産		
投資有価証券	50,364	19,027
繰延税金資産	109,890	129,079
その他	153,342	154,632
投資その他の資産合計	313,598	302,740
固定資産合計	843,123	804,442
資産合計	5,261,249	5,422,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,822	409,764
短期借入金	135,000	145,000
1年内返済予定の長期借入金	75,960	75,434
未払金	278,686	227,098
未払費用	427,226	178,278
未払法人税等	89,389	108,094
賞与引当金	29,056	175,631
受注損失引当金	—	9,533
アフターコスト引当金	5,850	5,850
その他	162,364	169,197
流動負債合計	1,430,355	1,503,882
固定負債		
長期借入金	325,694	269,250
その他	44,734	44,707
固定負債合計	370,428	313,957
負債合計	1,800,784	1,817,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,219,291	1,258,509
利益剰余金	1,287,205	1,373,617
自己株式	△36,804	△27,668
株主資本合計	3,162,942	3,297,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,188	2,302
その他の包括利益累計額合計	2,188	2,302
非支配株主持分	295,334	304,686
純資産合計	3,460,465	3,604,696
負債純資産合計	5,261,249	5,422,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	4,773,615	4,843,964
売上原価	3,025,929	3,070,228
売上総利益	1,747,685	1,773,736
販売費及び一般管理費	1,130,431	1,279,623
営業利益	617,253	494,113
営業外収益		
受取利息及び配当金	255	1,280
為替差益	1,115	1,945
その他	2,816	4,763
営業外収益合計	4,186	7,989
営業外費用		
支払利息	4,061	3,844
その他	876	32
営業外費用合計	4,938	3,877
経常利益	616,501	498,225
特別損失		
その他	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	616,501	498,225
法人税、住民税及び事業税	189,841	179,715
法人税等調整額	15,367	△19,236
法人税等合計	205,208	160,479
四半期純利益	411,293	337,745
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,506	14,664
親会社株主に帰属する四半期純利益	397,787	323,081

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	411,293	337,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	552	113
その他の包括利益合計	552	113
四半期包括利益	411,846	337,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	398,339	323,195
非支配株主に係る四半期包括利益	13,506	14,664

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	I Tソリューション事業	I Tインフラ事業	I Tサービス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,952,876	811,309	1,009,429	4,773,615	—	4,773,615
外部顧客への売上高	2,952,876	811,309	1,009,429	4,773,615	—	4,773,615
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,031	2,500	661	15,192	△15,192	—
計	2,964,907	813,809	1,010,090	4,788,808	△15,192	4,773,615
セグメント利益	420,903	166,352	66,872	654,128	△36,875	617,253

(注) 1 セグメント利益の調整額△36,875千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△36,940千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「I Tソリューション事業」セグメントにおいて、株式会社プライムシステムデザインを当社の連結子会社としたことに伴い、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第3四半期連結累計期間においては、193,842千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	I Tソリューション事業	I Tインフラ事業	I Tサービス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,970,449	784,624	1,088,890	4,843,964	—	4,843,964
外部顧客への売上高	2,970,449	784,624	1,088,890	4,843,964	—	4,843,964
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,275	—	279	27,555	△27,555	—
計	2,997,724	784,624	1,089,170	4,871,519	△27,555	4,843,964
セグメント利益	285,773	133,839	112,827	532,440	△38,327	494,113

(注) 1 セグメント利益の調整額△38,327千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△39,644千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	39,465千円	37,334千円
のれんの償却額	1,259千円	15,797千円